

# 道づくりだより

第19号

2009. 9 島根県道づくり調整会議



一般県道 浜乃木湯町線（湯町工区）  
平成21年8月29日 開通

## CONTENTS

1. 道路愛護等に努めた方々が表彰されました！
2. 県民の皆さんの声 ～高速道路の早期整備に大きな期待～
3. 山陰自動車道 斐川 - 出雲間開通シンポジウム ～つながる道・街・人～
4. (一) 浜乃木湯町線 湯町工区 供用開始について
5. 『都市計画道路 中島染羽線』の事業紹介
6. 別府港の臨港道路について

# 道路愛護等に努めた方々が表彰されました！



8月27日、県庁知事室において、「道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努めその功績が特に顕著な民間の団体または個人に対する表彰」の伝達式と「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動表彰」の授与式が行われました。

## ～ 国土交通大臣表彰～

国土交通省では、8月の「道路ふれあい月間」中に「道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努めその功績が特に顕著な民間の団体または個人に対する表彰」という名称の国土交通大臣表彰を行っています。島根県からは2団体、1個人が表彰されました。

受賞の皆様

< 団体の部 >

さんぷいちじちかい  
三歩市自治会(津和野町)

くびすじちかいあいきょうかい  
久比須自治会愛郷会(奥出雲町)

< 個人の部 >

すぎはら まこと  
杉原 誠 氏(会社役員：出雲市)



## ～ 島根県知事表彰～

島根県では、「みんなで守り育てるしまねの道と川の愛護活動表彰」という知事表彰を行っています。道路部門では、長年の功績を称えられた5団体、1個人が表彰されました。

受賞の皆様

はばらじちかい  
羽原自治会(益田市)

ちぶむら  
知夫村ボランティアセンター(隠岐郡)

かみみしま  
上三島フラワーロードの会(川本町)

ふじい たかお  
藤井 恭雄 氏(益田市)

はしなみしんこうきょうぎかい  
橋波振興協議会(出雲市)

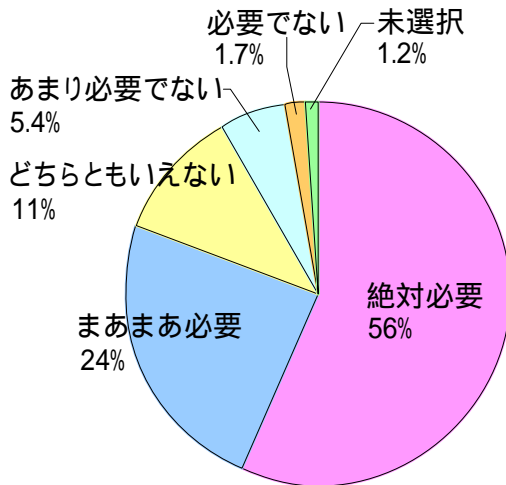
ながえことぶきかい  
長江寿会(松江市)



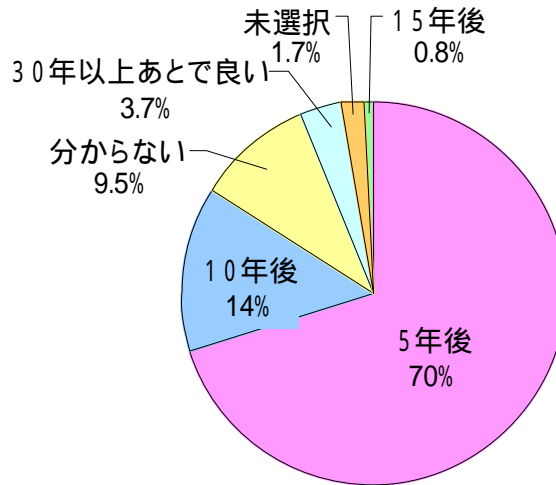
## 県民の皆さんの声 高速道路の早期整備に大きな期待

島根県では、県民の皆さんのご意見を県政に広く反映させるため、インターネットを使ってアンケートに答えていただく「しまね web モニター」制度を設けています。このほど、県内の高速道路に関する調査結果がまとまりましたので、その一部を紹介します。

今後県内の高速道路整備を進める必要がありますか？



山陰道や尾道松江線はいつ頃までに完成してほしいですか？



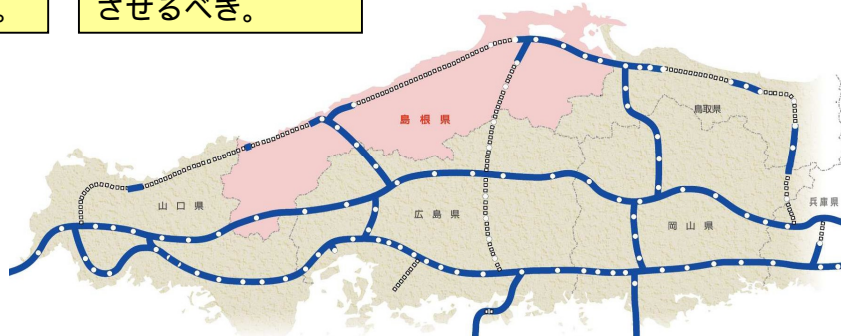
ご意見（高速道路があって良かったこと、なくて困ったこと）

隔週1回松江に行っています。高速利用により「安心・時間厳守」とも喜んでます。特に**身体障害者であり改造車を運転していますが安心です。**

**国道9号が崖崩れ**で通行できなくなり、迂回が大変だった。山陰高速道路は最優先で全線完成させるべき。

**母が入院し、松江市から大田市まで毎日通った。**斐川までは高速道路があり運転が楽だったが、出雲市は混雑し、その先大田市までも運転が大変でとても困った。

私の住む山間部から**三次救急医療機関へは1時間30分程度かかる。**脳関係の病気にとても不安。一刻も早く高速道路整備をお願いしたい。



**毎週末、独居親の家まで帰るとき、**高速道路により時間の短縮が出来、運転の疲れも少ない。

大阪から1ターンで島根に住んで、一番驚いたのが**高速道路の未整備。****不便な地域こそ地域間の時間短縮を図らねば発展はない。**みんながこのような意識にならなければ都会との格差が生じても仕方ない。

調査期間：平成21年6月23日（火）～7月2日（木）

モニター対象：337名（男性171名、女性166名） うち回答者数：241名

調査結果は下記の島根県広聴広報課ホームページにも掲載されています。

URL <http://www.pref.shimane.lg.jp/kochokoho/webmoni/>

# 山陰自動車道 斐川・出雲間開通シンポジウム ～つながる道・街・人～

が開催されました。

山陰自動車道 斐川・出雲間(延長13.6km)が、平成21年11月28日(土)にいよいよ開通します。これを前に、開通する高速道路を沿線の方々に幅広く知っていただき、また開通後にたくさんの方々に活用していただくことを目的として、9月6日(日)出雲市民会館にて開通シンポジウムが開催されました。

シンポジウムには約600人の聴講者があり、フリーアナウンサー堀尾正明氏の「ご近所から島根を変えよう」と題した基調講演の後、「つながる道・街・人」をテーマにパネルディスカッションが行われました。各パネリストからは、高速道路の開通による観光・産業への経済効果や救命活動での効果、また、出雲以西の山陰道について、国の責任で整備を進める必要があるなどの意見が述べられました。



パネリスト  
溝口善兵衛 / 島根県知事  
長岡秀人氏 / 出雲市長  
宮脇和秀氏 / 島根経済同友会代表幹事  
松永桂子氏 / 島根県立大学准教授  
石田孝氏 / 西日本高速道路(株)代表取締役会長 CEO  
コーディネーター  
松本英史氏 / (株)山陰中央新報社論説委員長

斐伊川橋、船津地区の様子(2009.8撮影)



出雲インター周辺の様子(2009.8撮影)



## (一) 浜乃木湯町線 (湯町工区) の供用開始について

松江市玉湯町地内において事業を進めていました一般県道浜乃木湯町線(湯町工区)が平成21年8月29日に供用開始しました。

当工区は、交通量が多いにもかかわらず、道幅が狭く路線バス等のすれ違いが難しいうえ、歩道もなく歩行者や自転車と自動車とが交錯しており、大変危険な状況となっていたため、バイパスにより整備しました。

このたびの供用により、走行性・安全性が格段に向上するとともに、山陰道からの玉造温泉へのアクセスも向上し、地域の活性化につながるものと思います。



### 【事業概要】

事業名	一般県道 浜乃木湯町線 湯町工区
事業期間	平成11年～平成21年
事業費	約40億円
計画延長	1300m
計画幅員	全幅員 12m (2車線)
道路規格	3種2級
設計速度	60km/h
主要構造物	花仙トンネル L=190m 真の谷橋 L=21m 面白谷橋 L=22m



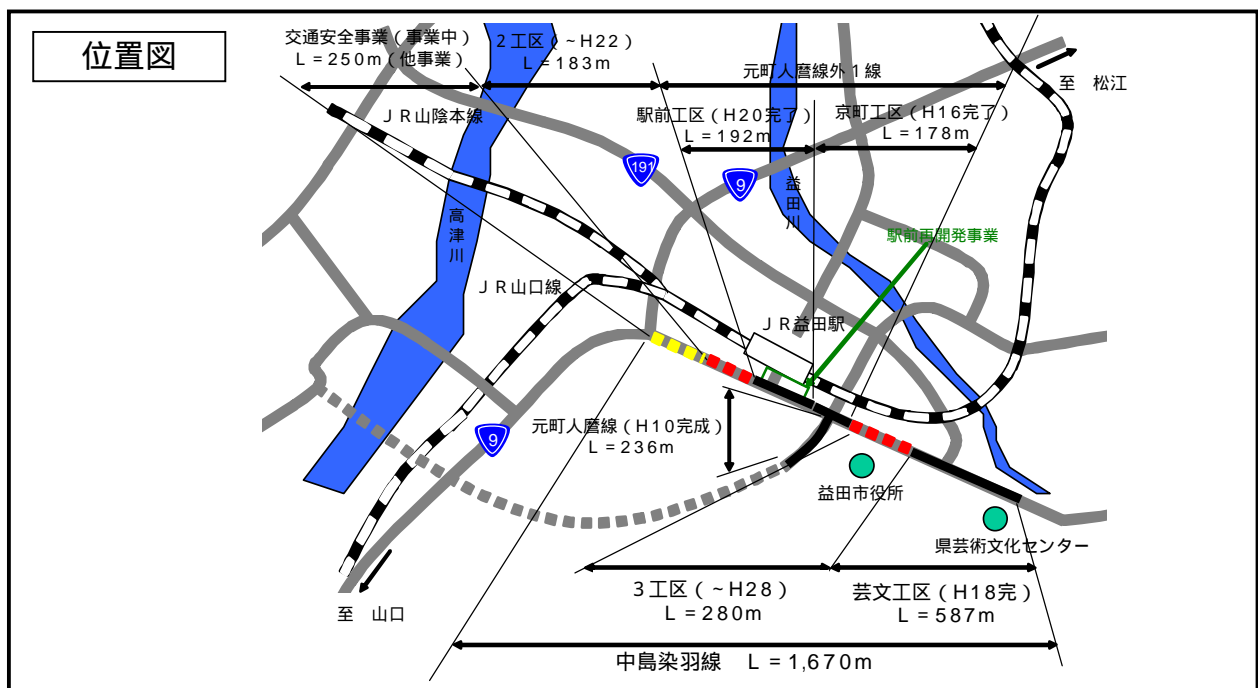
## 『都市計画道路 中島染羽線』の事業紹介

都市計画道路中島染羽線は、国道9号からJ R益田駅を経て旧益田地区の市街地を結ぶ全長3,180mの道路です。このうち、市道部分1,510mは既に整備を完了しており、現在は県道部分1,670mを整備しています。

県道部分はJ R益田駅、益田市役所、グラントワ等の公共施設が建ち並び、益田市のメインストリートともいえる区間であり、整備にあたっては安全・安心な道路空間を確保し中心市街地の活性化を支援するとともに、地域のシンボルとなる街路整備を目的として整備を進めています。

県整備区間のうち、整備の完了した957mは駅前再開発事業やグラントワ建設事業に併せて整備を行った区間であり、地域の活性化や安全・安心な道路空間の確保等、一定の効果が発揮されたところです。

現在は残区間(713m)の整備を進めており、J R益田駅から国道9号までの区間は平成24年度、J R益田駅からグラントワまでの区間は平成28年度の開通を目指しています。



## 【事業概要】

路線名	都市計画道路中島染羽線(県道区間) 主要地方道 益田停車場線 (国道9号～J R益田駅) 主要地方道 益田澄川線 (J R益田駅～グラントワ)
事業期間	平成9年度～平成28年度(予定)
事業箇所	益田市駅前町～有明町
事業費	約196億円
計画延長	1,670m
計画幅員	19m
道路規格	第4種第2級
設計速度	40km/h



3工区の現況(歩道が無く危険な状況となっています)

# 別府港（べっぷこう）の臨港道路について

臨港道路については、「道づくりだより 第7号」で紹介しましたが、今回は別府港の臨港道路についてお話しします。

## 〔別府港の概要〕

今回紹介する別府港（べっぷこう）は、本土から約65km沖合に位置する隠岐諸島のうち島前諸島最大の島である西ノ島の東部にあり、背後の別府地区は、古くから島前の政治、経済、文化の中心地として栄えてきました。西ノ島の西部から北部にかけては焼火山（たくひやま）などの山々に囲まれており、冬季の北西季節風に対し安全な地形であるため、古くから天然の良港として別府港は利用されています。

別府港は、昭和41年に島根県管理の地方港湾として指定されて以来、岸壁等が整備され、現在に至るまで貨物船、旅客フェリー、漁船、観光船などの基地として、年間1万隻の船舶と30万人を超える利用者により物流・人的拠点の重要な役割を果たしています。

別府港は重要な基地港としての役割のほか、隠岐を代表する景勝地「国賀海岸」や「通天橋」、最近では鬼太郎を始めとする妖怪ブームから命名された「ねずみ男岩」、「ぬりかべ岩」など境港と連携した観光の玄関口として多くの観光客に利用されています。

位置図



「国賀海岸」は隠岐を代表する景勝地です。海面から300メートルの高さにそそり立つ断崖と、日本海の雄大な景色は見るものを圧倒します。対照的に、丘の上では牛や馬が放牧され、のどかな風景が広がります。

また、国賀巡りができる定期観光船もあるので、海上から眺めるのもおすすめ。摩天崖はもちろん、鬼ヶ城、乙姫御殿、通天橋などの見どころもあり、波が穏やかな時は、『明暗の岩屋』という洞窟に入れます。

「出典：しまね観光ナビ」



〔臨港道路〕

別府港の現在の臨港道路は、昭和 51 年から平成 15 年に至る 28 年間の歳月をかけて約 1.9 km を整備しました。

この臨港道路は、別府港と国道 485 号を結ぶ幹線道路であり、平成 22 年度完成予定の国道 485 号別府バイパスとの連結により、海産物や生活物資、建設資材などの流通路として、今後も西ノ島町の産業振興や生活に欠かすことのできない道路として重要な役割を果たします。

また、周辺には「見付島」「黒木御所」「西ノ島ふるさと館」など島前の歴史を知ることのできる施設が点在し散策のルートとしても利用されています。

【 別府港 航空写真 】

